

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査について

## 1 学力の状況（正答率より）と教科別の成果(○)・課題(●)・改善策(◎)

※ 平均正答率は、国語科で県平均と全国平均を下回り、算数科でも全国平均を若干下回る結果でした。

### (1) 国語科

- 送り仮名に注意して、文の中で漢字を正しく使うことができていました。また、日常よく使われる敬語を理解し、正しく選ぶことができていました。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるよう、書き表し方を工夫することに関する課題が見られました。また、情報と情報との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに関する課題もあります。
- ◎ 国語科以外の教科(社会科や総合的な学習の時間等)においても、資料から必要な情報を探し出し、書く活動を多く取り入れていきます。また、授業のまとめをする際は、「キーワードを入れる」「字数を制限する」などの条件付けを行うことにより、柔軟な表現方法を身に付けていきます。

### (2) 算数科

- 四則計算の解法や計算法則を正しく理解し、用いることができていました。
- 伴って変わる2つの数量の関係を理解し、知りたい数量の求め方とその答えについて、式や言葉を用いて記述することに関する課題が見られました。また、百分率で表された割合の理解に関する課題もあります。
- ◎ 数量の変化と関係について、自分の言葉で友達と説明し合ったり、記述で答えたりする機会を意識的に設定していきます。

## 2 学習の状況（質問紙より）と注目する質問の成果(○)・課題(●)・対応策(◎)

- ほぼ全ての項目において、比較的良好な回答でした。
- 話し合いやグループ活動で、自分と異なる意見について考えることに消極的な傾向が見られました。また、読書や新聞を読む習慣付けに課題があります。
- ◎ 話し合いやグループ活動を積極的に取り入れた授業を展開していきます。多様な自主学習を推奨する中で、本や新聞を読んで情報や感想をまとめる習慣を付けていきます。

## 3 今後に向けて

昨年度までの傾向とほとんど変わらない課題が見られるため、全校的な傾向として捉えながら、更なる充実を目指します。

学校では、今回の調査結果を基に、日々、授業改善に努め、ICT機器の効果的な活用など、学びの環境を工夫しながら、ご家庭との連携を強め、学力の定着・向上を目指します。

ご家庭におかれましては、お子様の学習意欲が高まりますよう、お配りした結果を基に、励ましやアドバイスをしていただき、家庭学習を見直すよい機会にさせていただけたらと思います。今後ともご協力よろしくお願いいたします。